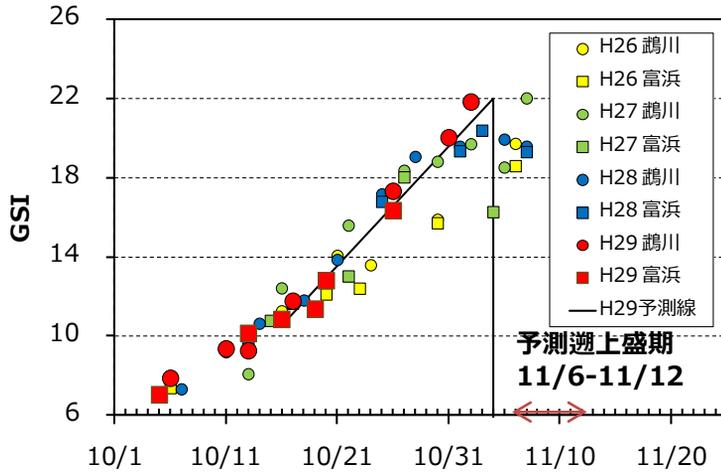


① シシヤモの成熟の進行について (11/2現在)



栽培水産試験場では、10月26日までの雌の**GSI値** (卵巣重量÷体重×100) の変化から、鶴川、沙流川へのシシヤモの遡上盛期は11月6日～11月12日ごろと予測しました。その後の調査の結果、GSI値はやや予測線を上回るペースで上昇しています (図1)。

図1 シシヤモ雌の生殖腺重量指数 (GSI) の変化

② シシヤモの体長組成・年齢組成について

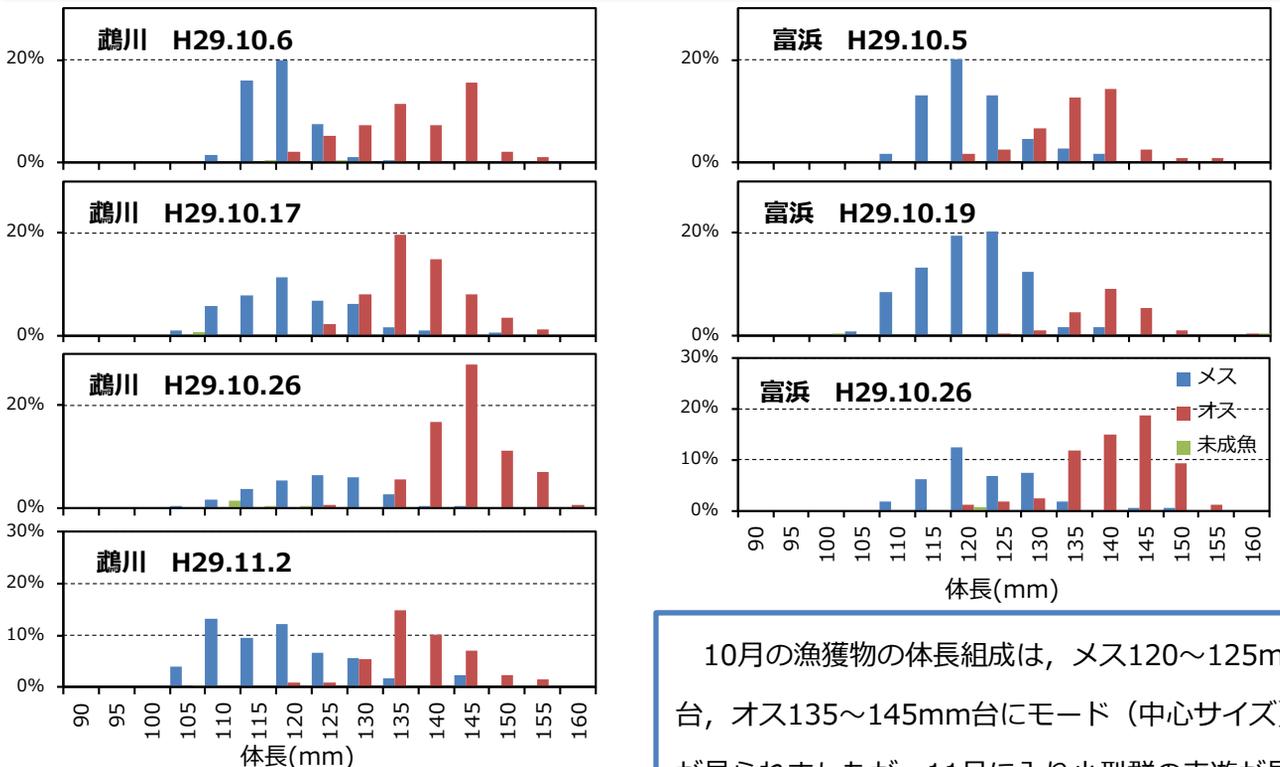


図2 シシヤモ漁獲物の体長組成

10月の漁獲物の体長組成は、メス120～125mm台、オス135～145mm台にモード (中心サイズ) が見られましたが、11月に入り小型群の来遊が見られます (図2)。10月下旬で、全体の3割を2歳が占めており、昨年の生き残りが多く見られます。